

世界にコロタイプを発信

株式会社便利堂

代表者/鈴木 巧
住 所/中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302
TEL/ 075-231-4351
URL/ <http://www.benrido.co.jp>
事業内容/美術写真印刷・図書印刷

鈴木社長(左)に印刷現場を案内いただきました



西陣織をもっと身近に!

木村卯兵衛株式会社

代表者/木村 正也
住 所/上京区大宮通元誓願寺下ル北之御門町568
TEL/ 075-441-0131
URL/ <http://kimurahei.co.jp>
事業内容/西陣織物産地問屋

木村社長に蔵を改装した直営店を案内いただきました

創業130年を迎えた**便利堂**は、美術写真印刷一筋に図録印刷や複製に携わってきました。その核ともいえるのがコロタイプ印刷。19世紀中頃のフランスで生まれた写真印刷技法で、同社が独自開発した多色印刷は、1色ごとに被写体を撮影し、フィルムの修正、ゼラチン版へのフィルムの転写、凹みに顔料を塗りこみ、版画のように重ね刷りする印刷技法で、熟練した技術と手間暇がかかります。このため、「現在ではカラーコロタイプ技術を有するのは世界でも当社のみ」と語る鈴木社長は技術の継承にも高い使命感を持っておられます。その高い保存性、微妙な色彩の変化や筆力の忠実な再現性が世界的に見直され、同社では社内に研究所の設置を進めています。「海外からの研修生の受け入れやワークショップ・コンテストの実施を通して、世界にコロタイプを発信したい」と鈴木社長。豊富な美術印刷の原版を活かしたミュージアムグッズは、身近な美術品として多くのファンを楽しませています。

西陣地問屋として元文三年(1738年)に創業した**木村卯兵衛**は、西陣織産地問屋として、主要都市の問屋や呉服店に帯地を卸売しています。10代目となる木村社長は「家訓『永代不易』は物事の本質を変えないこと。西陣織で培われた「知恵を活かして新しい価値を生み出したい」と語ります。10年前、「西陣織をもっと身近に」をコンセプトに、ファッション性の高いオリジナル生地を活かしたバッグや財布・名刺入れ等の和雑貨ブランド「iroha(いろは)」をスタート。認知度も徐々に上がり、来年2月の「京都知恵産業フェア」にも出展予定です。「西陣織専門の問屋ならではの職人ネットワークによる良質な生地を生かせるのが当社の強み」と木村社長。現在は、新たな需要創出を模索する中で他社が取り組まない暖簾に着目。「不動産会社などと提携し、まちの美観を引き立てる店舗装飾として一品物の暖簾を提供していきたい」と新たな展開を見据えています。

おじやまします!

立石会頭の会員訪問レポート 42

立石義雄会頭も、会員の皆さまを訪問し、ご活躍の現場を拝見しています。その様子をご報告します。

11月から本所では「京商ビジョンNEXT」がスタート。知恵ビジネスの更なる支援や知恵の連携・交流の場を設け「知恵の集積」を目指します。今回は、自社の知恵を活かして新しいビジネス展開を行う2社を訪問しました。

会頭のひとこと

今回訪問した2社は、製造工程の機械化、デジタル化が進む中、職人の手仕事・アナログならではの温かみを大切にされたこだわりのものづくりをされています。今後も先人の知恵を活かし新たな価値を創出する知恵ビジネスに取り組んでいただきたいと思います。